

第11回 工科大祭



CONTENTS

- | | | |
|---|--|---|
| 1 第11回工科大祭 | 5 ロボット研究部を表彰
本学卒業生が電子情報通信学会学術奨励賞を受賞
大学ランキングで高い評価 | 7 産学交流会が通常総会
にいがた環境展に参加
情報処理技術者試験合格者 |
| 2 今年も大盛況、第11回工科大祭
工科大祭を終えて | 6 新校舎建設、完成は再来年春!
「学習支援センター」(仮称)を開設します! | 8 平成18年度公開講座、2講座が終了
第2回オープンキャンパスのご案内
編集後記 |
| 3 熱戦が繰り広げられたスポーツ大会
青少年のための科学の祭典 柏崎刈羽大会 | 7 ノートPC貸出し開始 | |
| 4 ロボカップ世界大会に出場したNIIT-BLUEに突撃インタビュー | | |

今年も大盛況、第11回工科大祭



今年で11回目を迎えた「工科大祭」が6月3日(土)に開催されました。当日は、柏崎市教育センター主催の「青少年のための科学の祭典 柏崎刈羽大会」も同時開催され、好天のもと、2,600人を超える来場者で大盛況となりました。

コモンプラザには多数の模擬店が出店され、昼時には飲食関係の模擬店に長蛇の列ができていました。また、工科大祭恒例の「爆笑!?お笑いライブ」には、だいたひかる、ライセンスの2組のタレントが出演し、立ち見が出る程の人が詰めかけました。そして、今回の新企画として、教職員・学生による「手作りカレー料理コンテスト」が行われ、4人の料理自慢が腕を振りました。

また、新潟放送(BSN)などで放送されるテレビ番組「新潟の私立大学そこが知りたい!2006」の収録も行われ、工科大祭実行委員が元気一杯、工科大学をPRしてくれました。



[関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20060603_01.html]

工科大祭を終えて



工科大祭実行委員長 水野 幸恵
(物質生物システム工学科 3年 名古屋市立緑高校出身)

昨年から工科大祭のための準備を進めてきたにも関わらず、直前になってもやるべきことが山積みでした。それでも、実行委員のメンバーが一丸となることにより、なんとか工科大祭を迎えることができました。

そして、工科大祭当日は、「お笑いライブ」や新企画の「料理ショー」など大変なイベントばかりでした。無事に終えることができて、ホッとしたというのが、正直な感想です。

たくさんの方々に来場していただき、無事に終えることができたのも、実行委員のみんなのおかげだと思っています。そして、裏方に徹していただいた小野寺先生、事務の方々にも感謝しています。

ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



熱戦が繰り広げられたスポーツ大会

工科大祭前日の6月2日(金)から2日間にわたってスポーツ大会が開催され、フットサルと3on3で熱戦が繰り広げられました。フットサルでは、ぶっつけ本番が、3on3では、UNIQLONがそれぞれ優勝しました。



[関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20060603_03.html]

青少年のための科学の祭典 柏崎刈羽大会

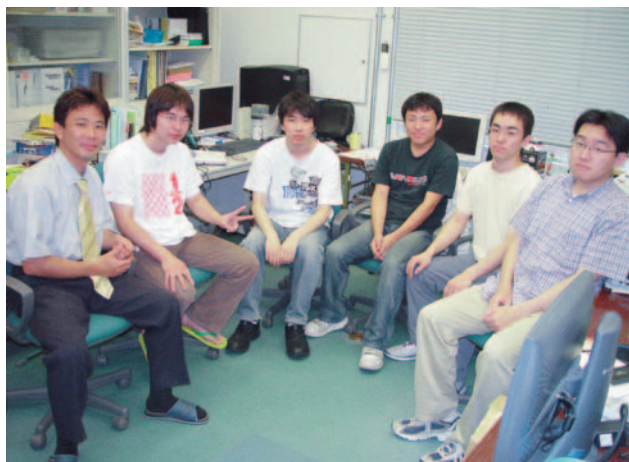
工科大祭と並行して行われた科学の祭典にも、開場と同時に多くの親子連れが来場しました。この催しは、科学技術の観察、実験などを通して、子供たちに科学を身近に感じてもらうことを目的としたもので、今回で7回目となります。

本学の教員や学生も指導にあたり、「くると変身!電磁力」、「腕の動きにあわせてロボットアームを動かす?」、「いろいろくらボトル」、「アルコールパッチテスト」の4ブースを出展しました。



[関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20060603_02.html]

ロボカップ世界大会に出場したNIIT-BLUEに突撃インタビュー



6月14日(水)～18日(日)にドイツのブレーメンで開催されたロボカップ世界大会のレスキューロボットリーグに出場したNIIT-BLUEに突撃インタビューをしました。

写真左から 寺島正二郎助教授(司会)、塩入知也(4年・新潟県立長岡工業高校出身)、小林隆浩(4年・新潟県立柏崎工業高校出身)、藤田陽介(4年・新潟県立柏崎工業高校出身)、佐藤仁(4年・新潟県立柏崎工業高校出身)、田中駿彦(4年・私立日本文理高校出身)

司会：世界大会お疲れ様でした。世界大会での様子を聞きたいのですが、その前にドイツはどうでしたか？

塩入：ビールが美味しかったです。

司会：えっ！？それだけ！？

塩入：あまり観光する時間もなかったんですよ。ただ、毎食パンばかりだったので、ご飯が食べたくなくて、回転寿司を食べには行きました。

司会：やっぱり、日本人はお米ですよね。そう言えば、ワールドカップの開催期間中だったけど、試合は観ましたか？

塩入：大会の会場に大型ビジョンがあって、それを観ただけです。

司会：それは、残念でしたね。それでは、本題に入りましょう。まず、レスキューロボットリーグについて教えてください。

小林：レスキューロボットリーグは、レスキューロボットの研究開発を促進するための競技会で、災害地を模した会場で被災者に似せたダミー人形を制限時間10分で多く探し出し、点数を競う競技です。また、障害物、被災者の位置などの地図を正確に作ることで高い点数が得られます。



司会：ダミー人形は、何を手がかりに探し出すのですか？

小林：人形が発する声、熱、呼吸(二酸化炭素)の有無ですね。

あとは、操縦者の勘です(笑)。

発見したダミー人形の状態をどこまで把握できるかでも点数が変わるんですよ。瓦礫を被っているか、いないかとか…。

司会：なかなか難しそうですね。大会の結果はどうでしたか？

佐藤：予選は3試合行って、22チーム中6位で通過しました。

司会：素晴らしいですね！それで、本選の結果は？

佐藤：パソコンの電源が入らなくなってしまって、セミファイナルで敗退してしまいました。一応、日本のチームの中では2位でしたが…。

司会：それは、残念な結果でしたね。日本で2位は凄いと思いますよ。

今後の課題は何かありますか？

藤田：地図のマッピングですかね。地図の点数配分が手書きで1点、自動マッピングオートで精度が良ければ10点なんですけど、NIIT-BLUEは手書きなんですよ。

司会：自動マッピングオートは簡単にできるの？

藤田：お金があれば…(笑)。

NIIT-BLUEのロボットは手作りなんですけど、製作費用は60万円くらいなんです。でも、他のチームは600万円くらいかかってるんですよ。手作りしているのは、NIIT-BLUEくらいですね。

司会：それで、予選通過は凄いですね。他に何かありますか？田中くん、何かありますか？

田中：僕は行ってませんよ。留守番です。先生の講義に出てたじゃないですか！

司会：そうでした。それでは、最後に今後の抱負をお願いします。

藤田：他のチームのロボットは走破性はいいけど、大型で被災地では使えないと思うんですよ。

それを踏まえて、実際の被災地で使えるロボットを作りたいですね。

司会：これからも頑張ってください。

みなさん、ありがとうございました。

関連URL

機械制御システム工学科 <http://www.niit.ac.jp/mcehtml/>

世界大会公式サイト <http://www.robocup2006.org/start?lang=en>



ロボット研究部を表彰

このほど制定・施行された「学生表彰規程」に基づき、ロボット研究部が最初の表彰団体となりました。

この規程は、学生や学生団体の活動の成果を学科長や顧問教員の推薦により表彰する制度で、次の基準を満たす活動が対象となります。

- ① 学術研究活動で国際的又は全国的規模の学会からの受賞
- ② 課外活動で国際的規模の競技会、展示会等への出場、全国的規模の競技会等での上位入賞
- ③ 社会活動における公共団体等からの表彰や社会的な評価

今回、ロボット研究部のこれまでの活動が顕著であり表彰に値するとの推薦により、同部に表彰状と活動費として賞金20万円が授与されました。



推薦理由:RoboCup レスキューロボットリーグに出場し、次の成績を収めた。

ロボット研究部の主な活動実績

- 2006年6月 世界大会出場(プレーメン)
- 5月 計測自動制御学会賞受賞
(ジャパンオープン北九州大会)
- 2005年7月 世界大会出場 8位(大阪)
- 5月 USオープン出場 準優勝(アトランタ)
- 2004年6月 世界大会出場(リスボン)
- 5月 ジャパンオープン出場 準優勝(大阪)



本学卒業生が電子情報通信学会学術奨励賞を受賞

平成12年3月に情報電子工学科を卒業した島田雅史さんがこのほど、電子情報通信学会から、平成17年度学術奨励賞を受賞しました。

この賞は、電子工学および情報通信に関する学問、技術の奨励のため、新進の科学者または技術者に贈呈されるものです。

島田さんは、本学卒業後、新潟大学大学院に進学しました。現在、三菱電機(株) 情報技術総合研究所に勤務し、レーダを用いた目標類識別の研究をしています。

今後の活躍を期待しています。

大学ランキングで高い評価

「大学ランキング2007年版」(朝日新聞社)において、学年定員に占める職業実習(インターンシップ)体験者の割合が**全国で9位**となりました。本学には、大学設立の推進力となり、開学後も卒業生の採用や職業実習、共同研究などで大学をサポートしている「産学交流会」があります。同会の会員企業を中心に、平成17年度は定員240人に対し126人(52.5%)が職業実習を行いました。

また、「プレジデント」誌2006.5.15号の学歴と給料のランキン

グにおいて、本学は卒業生の平均年収で、**全国理科系大学の25位**となりました。このランキングは、全国の339大学の卒業生約4万人を対象に、卒業後の大学別の平均年収と年収偏差値を算出し、「稼ぐ力」を数値化したものです。

本学は「エコノミスト」誌(毎日新聞社)2005.7.12号においても、「学生を育てる力」の高い大学ランキングで**全国16位(県内1位)**、**就職率で35位(同2位)**を記録し、就職に強い大学として各方面から高い評価をいただいています。



職業実習

〔関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2006/20060519_01.html〕



合同会社説明会

新校舎建設、完成は再来年春！

新潟工科大学では、人と人が繋がるコミュニケーション施設として、新たに福利厚生棟と講義棟を建設します。今年度末に着工して、完成は平成20年春の予定です。

この施設は、建築学科の学生による「NIITの新施設」のコン

ペティション応募作品の中から選ばれた作品をベースに設計された、いわば、学生が考えた学生のための施設です。施設・設備が自慢のキャンパスがさらに充実します。



「学習支援センター」(仮称)を開設します！

「高校で習っていない科目や分野がある」「授業についていけないだろう」など、何らかの不安を持ちながら入学してくる学生がいます。そんな学生の不安を解消するため、平成19年4月から「学習支援センター」(仮称)を開設することになりました。

センターでは、基礎学力の向上と正課授業の理解不足を解消するため、質問や相談に応じ、個人指導などを行います。



ノートPC貸出し開始

学生向けノートPCの貸出しを始めました。



- ソフト
文章作成や表計算、CADなどが利用できます。
- 貸出期間
1日単位（月曜日から金曜日（※）、図書館の土曜日開館日の9時～16時30分）
※祝日、大学行事、大学の閉鎖期間は除く。
- 対象者
学部学生、大学院生
- 利用方法
事前に学務課で所定の手続きを行ってください。

〔関連URL http://www.niit.ac.jp/inside/rental_pc.html〕

産学交流会が通常総会



総会で挨拶する古泉肇産学交流会会長

新潟工科大学産学交流会の平成18年度通常総会が5月9日（火）、新潟市のホテル日航新潟で開催され、引き続き大学を支援していくことが確認されました。

平成18年度事業計画は、大学支援事業として、①学内施設・研究設備の充実支援、②大学の広報活動支援、③「産業と大学」の講義への講師派遣、④職業実習生の受入れ、⑤学生の就職活動支援、の5項目、並びに産学交流事業として、技術相談や大学からの講師派遣など、大学の持つ各種機能を会員企業が有効に利用することや、セミナー、シンポジウムなどを通して大学の研究活動内容と会員企業の現場との相互理解を深め、産学協同の環境づくりを行うことが計画されました。

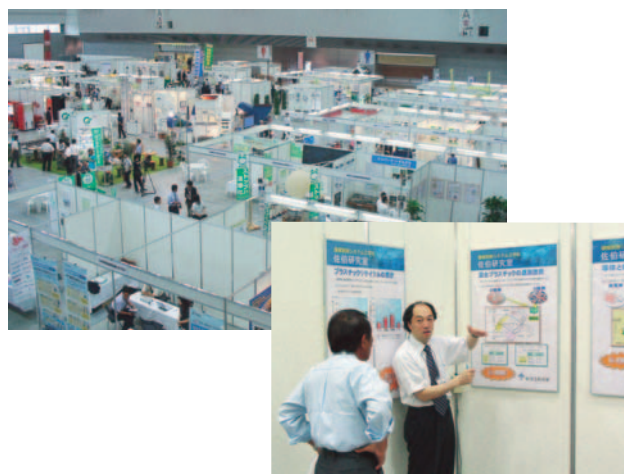
このほか今年度は、7月7日（金）、8日（土）に朱鷺メッセで開催された「にいがた環境展'06」においても、大学の参画を支援いただきました。

にいがた環境展に参加

「快適な都市環境の創造と災害に強い街づくり」をテーマにした「にいがた環境展'06」が7月7日（金）、8日（土）の両日、新潟市の朱鷺メッセで行われました。

この催しは、環境問題や防災への関心を高めるとともに、企業や一般市民にも参加を呼びかけ、それらの解決策をともに考える機会とするため、先端技術研究会が主催して行われたもので、県内外企業や県内大学など74団体が参加しました。

本学からは、新潟工科大学産学交流会（古泉肇会長）の支援を得て、佐伯暢人教授（機械制御システム工学科）、竹園恵助教授（物質生物システム工学科）、飯野秋成教授、富永禎秀教授（建築学科）及び地域産学交流センター（佐伯暢人センター長）がブースを設置し、企業関係者や一般市民の質問に答えていました。



情報処理技術者試験合格者

国家試験である、平成18年度春期 情報処理技術者試験において、以下の学生が合格しました。

- ・初級システムアドミニストレータ試験
土田 寛之（情報電子工学科3年・新潟県立長岡工業高校出身）
 - ・基本情報技術者試験
渡邊 陽太郎（情報電子工学科4年・新潟県立柏崎高校出身）
- 次回の試験日は、10月15日（日）になります。

平成18年度公開講座、2講座が終了

6月1日(木)から平成18年度公開講座が始まり、既に以下の2講座が終了しました。

★技術講座・実験編(建築系)「建物の強さと風環境を学ぶ」

講師:建築学科 富永 禎秀 教授、穂積 秀雄 教授、
地濃 茂雄 教授、中野 克彦 助教授

6月1日(木)～6月22日(木) (全4回)

★教養講座「アメリカ文学・散歩道 ～時代を生きた女たち～」

講師:教養系 半藤 正夫 教授

6月13日(火)～7月18日(火) (全5回)

今後、開講される講座は、以下のとおりです。

★技術講座・実験編(情報系)「パソコンを作りあげよう」

講師:情報電子工学科 角山 正博 教授、渡邊 壮一 助教授、
伊藤 建一 助教授、佐藤 栄一 助教授

8月22日(火)～9月1日(金) (全5回)

申込期間:7月20日(木)～8月4日(金)

★技術講座・講義編「健やかなくらしのために」

一新潟県立看護大学との提携プログラム～

9月21日(木)～10月26日(木) (全6回)

申込期間:8月21日(月)～9月15日(金)



技術講座(6月22日)

[関連URL http://www.niit.ac.jp/kouza/kouza_index.html]



教養講座(6月13日)

第2回オープンキャンパスのご案内

9月30日(土)



●時間/11:30～15:30

大学・学科紹介、模擬実験体験、入試ガイダンス、学食無料開放

●送迎バス/新潟、長岡、直江津、柏崎

●参加申込方法/電話・FAX・ハガキ・メール等により開催日の2日前までにお申込ください。
※ホームページからも直接お申込できます。

〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719番地 入試広報課

☎:0120-8188-40 FAX:0257-22-8226

E-mail:nyuushi@adm.niit.ac.jp URL:<http://www.niit.ac.jp>

編集後記

夏休み!次号広報誌のネタ仕込み時期の到来ですね!休み明けにも是非たくさんのお話提供を!編集長もネタ集めにいそしみます!(;_) (A.I.)

発行

新潟工科大学広報誌 第10号
平成18年7月20日
新潟工科大学広報委員会

新潟工科大学

〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719番地
TEL.0257-22-8111 (代表)
FAX.0257-22-8112
E-mail:soumu@adm.niit.ac.jp
URL:<http://www.niit.ac.jp>